

# 議長の年頭の挨拶

議長

関 稔



平成二十七年最初の「議会だより」発行にあたり、一言ご挨拶申し上げます。

皆様には、境町議会に対し、ご理解・ご支援を賜り、誠にありがとうございます。この場をお借りしまして厚く御礼申し上げます。

昨年は、4月に消費税が5%から8%に増税、11月18日安倍首相の消費税10%を1年半先送り、衆議院解散・総選挙の結果与党の圧勝に終わりました。一方、TPPや竹島・尖閣の外交問題更には震災復興、原発問題、また、世界経済が穏やかな回復傾向にあるものの、米中と言う経済二大が変動をきたせば、景気・金融・商品など様々な面から世界経済に調整圧力がかかる危険性があり、国民は景気対策を最優先課題に挙げており、日本経済の再生が政治の最大の課

題となっております。

このような状況の中、地方自治体におきましても、税収の鈍化による財源問題をはじめ、国施策や権限委譲による地方負担が増加しており、当町においても引き続き厳しい財政運営が予測されるところでございます。

一方では、更なる少子高齢化の進展や地域福祉の充実、教育、環境問題など住民ニーズは多岐多様化しており、効率的で効果的な行財政運営が更に求められておるところでございます。

次の世代に誇りを持つてつないで行ける、元気な町づくりを構築して行くことが、私も議会に課せられた大きな責務と痛感をいたしておるところでございます。

長い間懸案でありました圏央道も、いよいよ3月に境古河イン

ターチェンジが開通と決まりましたことから、議会といたしましても税収や雇用の拡大に波及効果が期待できる、圏央道インターチェンジ周辺開発の加速に向け、町と一体となり推進して参りたいと考えております。

私たち議会は原点である、町民負託への責務と役割を再認識し、自治体の意思決定の議決機関として、町政の諸問題に向けて邁進していく所存でございます。

結びに、境町の限らない発展と町民の皆様のご健勝とご多幸を心からご祈念申し上げます、私の挨拶とさせていただきます。

本年も、どうぞよろしくお願いいたします。